



○「あいさつ」を
かわすと

あいさつをかわすことが人とかわるきっかけとなり、楽しいひと時を過ごした経験をお持ちの方も多いこと

とでしよう。あいさつをかわしたり、ちよつとひと声かけたりすることで、

笑顔が生まれ、明るい気持ちになれます。

そして、温かい雰囲気ができ、話しやす

くなります。人と人とのかわりがいっ

そう深くなります。ワークシヨ

ップでは、あいさつのもつ意味

について、まず語り合いました。

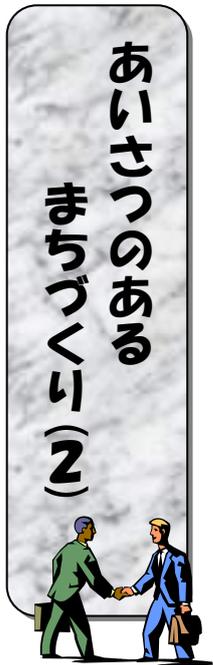
○あいさつ言葉には

あいさつと一言で言います

が、かわす言葉は、いろいろあります。

人に出会った時には、「おはようござい

ます」「こんにちは」「こんばんは」。人



を迎えたり送ったりする時には、「いらつしやい」「さようなら」。食事の時には、「いただきます」「ごちそうさま」。お世話になる時には、「お願いします」「ありがとうございます」などと。しかし、こうしたあいさつをかわす時には、いつもまわりや相手の方に対する感謝の気持ち、温かい心遣い、相手を思いやる心が込められていることを見逃がしてはなりません。

○人とのかわりを育む

いつもあいさつをかわし、顔の見える関係になると、人の心をじかに感じた

り、相手に自分の心が自然に伝わったりするようになります。そして、いっしょにやるうとする気持ちが生まれ、助け

合う気持ちもでてきます。いっしょに行動すれば、人とのかわりや近所づきあいはいっそう深まります。

○あつやくをやる

山形県米沢市では、あいさつの意味を大人も子どもも分かり合って取り組もうと「あいさつ絵本」を作られています。のぼりや看板を設置し、あいさつ運動の日も制定して、あいさつしやすい町の雰囲気をつくる取り組みも進められています。

わが町笠松も「心の通うあいさつが自然にできるまち」にしたい。そんな町が本当に住みやすい町ですよ。あなたなら、何から始めますか。



米沢市「あいさつ運動」マスコットキャラクター「ニコるさん」(毎月25日あいさつデイ)